



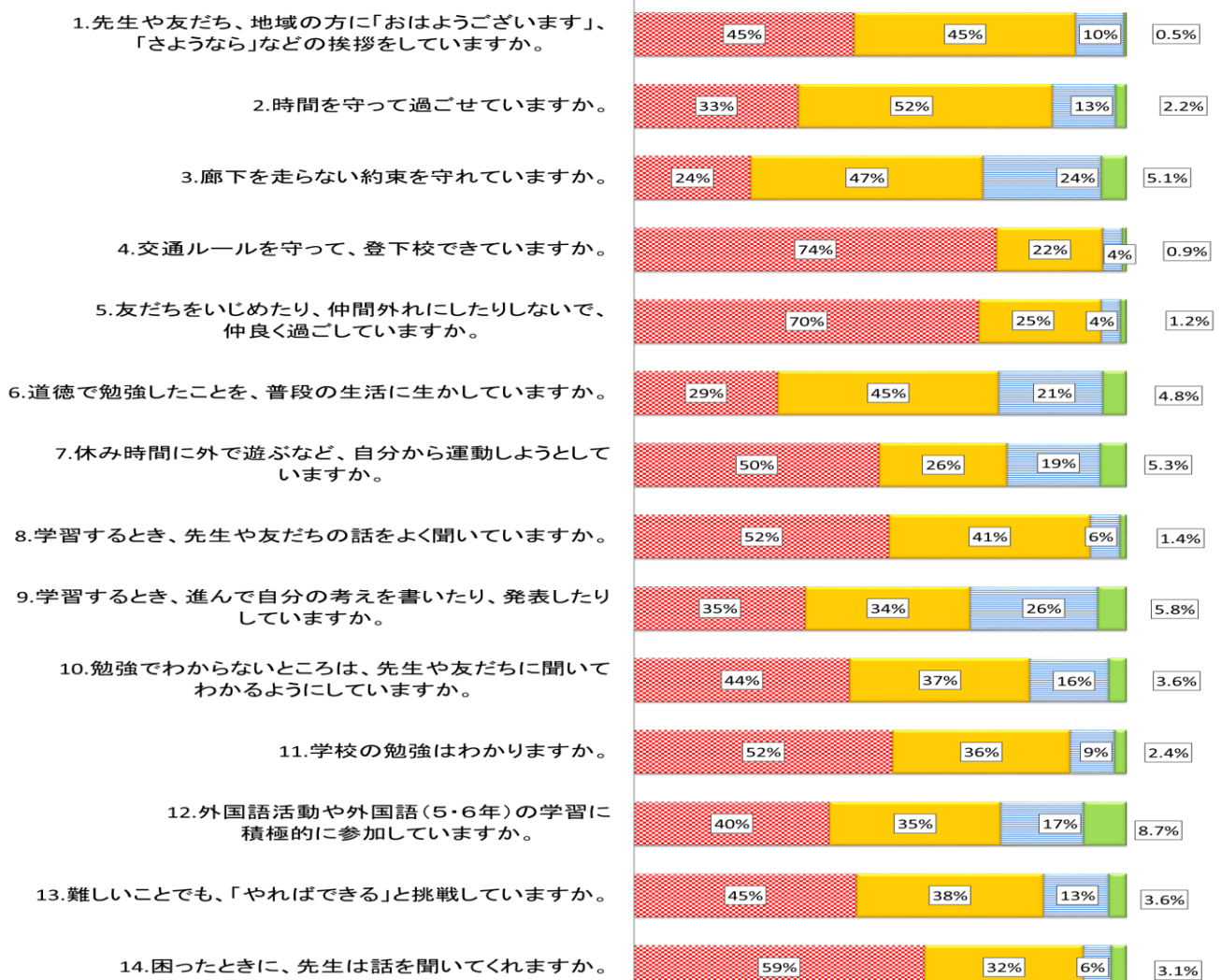
東小

学校だより
学校評価 特別号
令和5年1月20日
浦安市立東小学校

令和4年度 学校評価アンケート結果について

令和4年度 児童評価(全体)結果

■ 十分そう思う ■ そう思う ■ あまり思わない ■ 全く思わない



《児童アンケート結果の考察》

「十分そう思う」及び「そう思う」をプラス面、「あまり思わない」及び「全く思わない」をマイナス面としてとらえています。

評価項目は、①「挨拶」(項目1)、②「学校のきまり」(項目2～4)、③「道徳心」(項目5・6)、④「運動習慣」(項目7)、⑤「学習」(項目8～12)、⑥その他「意欲」(項目13)と「先生との関係」(項目14)です。

① 「挨拶」について

プラス面は、90%で、そのうち「十分そう思う」と回答した児童が45%でした。挨拶は生活においての基本となるので、引き続き指導していきます。また、マスクをしているため表情が見えない分、挨拶が伝わりにくくなっているところがあります。校内では計画委員会を中心に、挨拶の習慣化を目指し挨拶運動を定期的に行っています。登下校中、PTAの見守り活動の方が挨拶をしても、児童からの挨拶が返ってこないことがあるようです。今後も、地域や保護者の皆様に御協力いただきながら、気持ちの伝わる挨拶ができるように教員から積極的に挨拶をして、声をかけていきます。

② 「学校のきまり」について

項目2「時間を守ること」については、プラス面の回答が85%となっています。時間を見て行動できることは、とても大切な習慣です。今後も、休み時間の過ごし方や学習との切替えの大切さを指導していきます。項目4「交通ルールを守ること」については、昨年同様にプラス面の評価が96%と多いですが、登下校時に近隣の方から通学路でのマナーの悪さを指摘されるというケースもあり、今後も安全やマナーに対する指導を徹底していきます。

③ 「道徳心」について

項目5「仲良く過ごす」はプラス面が95%となっています。しかし、項目6「道徳的判断と実践力」において、「十分そう思う」が29%と昨年度より11%減となりました。また、25.8%の児童が普段の生活で生かしていないと答えています。「道徳の時間」の充実に加え、学級や学年活動の中で、互いに認め合い、助け合う活動が当たり前に行えるよう指導を徹底していく必要を痛感しています。学年児童を学年の全教員で育てられるよう、より一層努力していきます。同時に、異学年交流をはじめとする様々な交流を大切に、多様性の理解や協働学習の推進を図ったり、園小中の連携や地域との交流を続けたりしていきます。

④ 「運動習慣」について

項目7「元気に遊ぶ」は、プラス面が昨年に比べ微減の76%となりましたが、感染症対策をしつつ、太陽の時間や昼休みに大校庭と小校庭で積極的に外遊びをする児童の姿が見られます。体育の授業だけでなく、教員も積極的に外に出て、学級レクなどを通じて運動する楽しさや喜びを児童に伝えられるよう、より一層努力していきます。

⑤ 「学習」について

項目8では、プラス面が93%と「話を聞く」ことができる児童が多いことがわかりました。しかし、「進んで書く、発表しているか」(項目9)になると、69%にとどまっています。また、「学習でわからないことをわかるようにしているか」については、昨年よりプラス面が4%減となりました。学習中に質問しやすい環境を整えるため、児童との信頼関係の構築に努めるとともに、ICT等をより積極的に活用して、児童にわかりやすい授業を展開していきます。

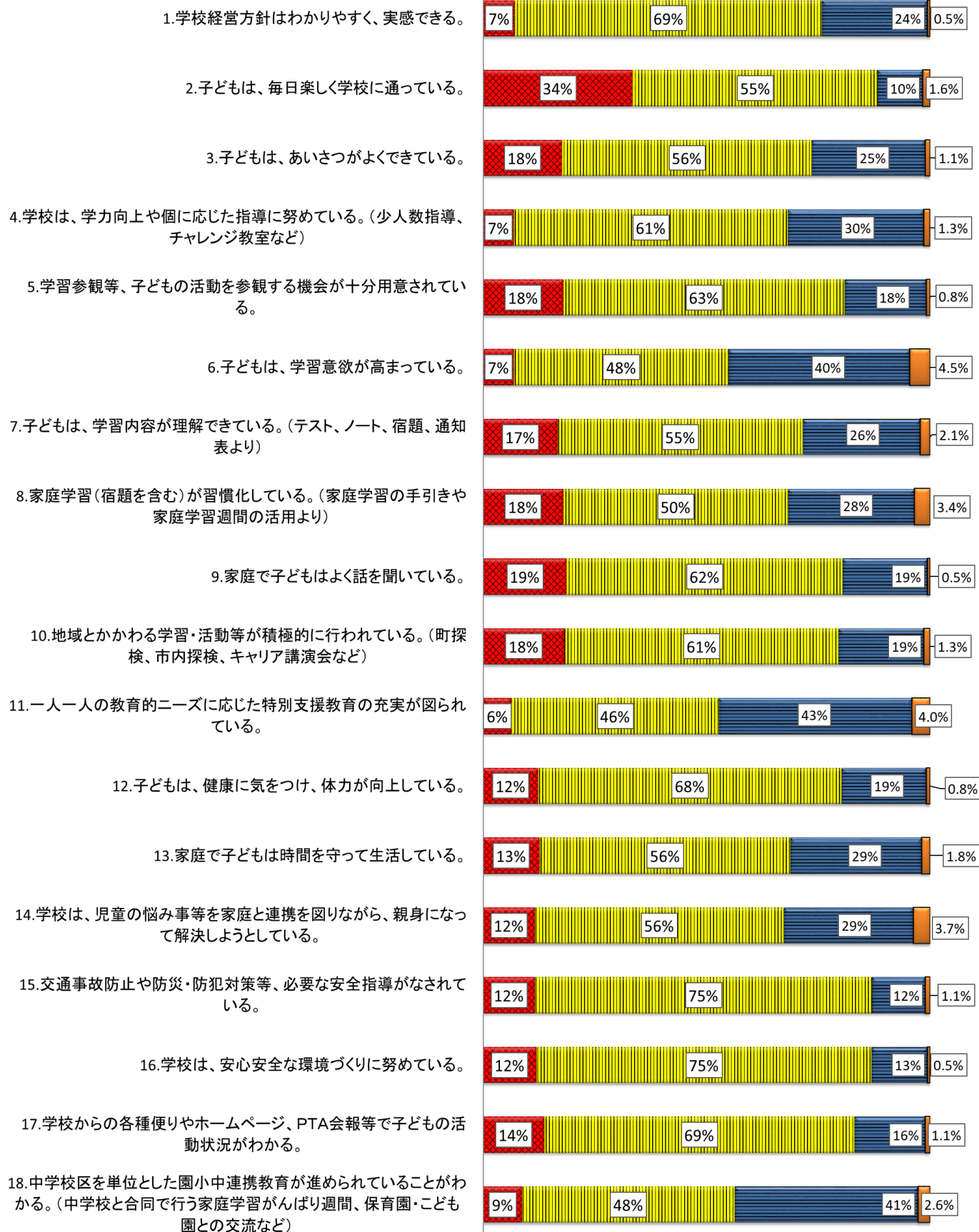
⑥ 「その他」について

項目13「意欲」は、プラス面が83%と昨年度より微増しました。何かに取り組む際、とても大切な要因になります。小学校生活6年間でこの意識がある児童とそうでない児童では大きな差ができて中学校に進学することになります。プラス面が向上するよう、日々励ましながら取り組んでいきます。項目14「先生との関係」は、プラス面が昨年度より3%減の91%となりました。90%を超えてはいますが、児童が困ったときに担任が一番頼れる、信頼できる存在でなくてはなりません。担任だけにとどまらず、職員全員が困ったときに頼りになる存在となれるよう、学校全体で取り組んでいきます。

令和4年度 保護者アンケート結果(東小学校)

回答率 60.8%
(昨年度 38.4%)

■ 十分にそう思う ■ そう思う ■ あまり思わない ■ 全く思わない



《保護者アンケート結果の考察》

「十分にそう思う」及び「そう思う」をプラス面、「あまり思わない」及び「全く思わない」をマイナス面としてとらえています。評価項目は、①学校全般の様子（項目1～4）、②授業や学習について（項目5～8・10）、③学校生活について（項目12・14～16）、④家庭での子どもの様子（項目9・13）、⑤その他「特別支援教育、学校行事やPTA活動、広報活動について」（項目11・17・18）、の5観点としています。

① 学校全般の様子について

プラス面で、項目1は76%、項目2は89%と昨年度より減となりました。まだまだコロナ禍にありますが、これまでの経験も踏まえ学びを止めないように工夫しながら、子どもたちに「学校は楽しい!」と思ってもらえる学校づくりに取り組んでいきます。

新規項目3はプラス面が74%でした。児童の45%が「十分そう思う」と回答しているのに対して、保護者の18%しか「十分そう思う」と回答していません。ちなみに、職員の「十分そう思う」は7.7%です。今後、挨拶への認識の差を埋めていく必要性を感じます。

② 授業や学習について

新規項目6「学習意欲について」は、プラス面が55%となりました。学習意欲の高まりが学力向上につながる大きな部分となるだけに、学校としてより真剣に考えて日々の授業改善に取り組んでいきます。

項目7「学習内容の理解について」は、プラス面が昨年度より6%減の72%となりました。指導法を再考し、個に応じた指導を工夫して実践しながら、少人数指導やチャレンジ教室等、指導の充実に努めていきます。また、家庭学習の習慣化についてもご協力をお願いします。

項目10「地域とかかわる活動」は、プラス面が10%増加しました。今後もできることを検討しながら取り組んでいきます。

③ 学校生活について

新規項目12「体力向上」は、プラス面が80%となりました。「運動量の確保」を意識した授業に取り組んだこと、外遊びの励行、保健指導により児童は少しずつ体力が向上してきていると感じています。

項目15「安全指導」でプラス面が昨年度より2%の増となりましたが、項目14「悩み事等の解決」は、プラス面が昨年度に比べ5%減少しました。何か相談したいことがあればいつでも学校にお問い合わせください。

④ 家庭での子どもの様子

項目9「話をよく聞いている児童」はプラス面が81%となりました。項目13「時間を守って生活している児童」はプラス面が69%となっている反面、30.8%の児童が時間を意識して生活することに課題があることがわかりました。ぜひ、時間を守る大切さをお子さんと話していただき、子ども自身にルールを決めさせ、自ら守らせるようにするなどご家庭でもお話してください。

⑤ その他

新規項目11「特別支援教育の充実」については、プラス面が52%となりました。特別支援教育の充実を図ることは、今後ますます重要になってきます。児童の特性を見極め、保護者のニーズや困り感を聞きながら、より丁寧に取り組んでいく必要があります。

<保護者の方からの項目に関する記述>

*複数の記述があったものや全体に関わる内容について抜粋し、載せています。
(→以下は学校からの回答です。)

学校行事・教育課程について

- 12月という時期の学習発表会とクラスごとの懇談会との時間のズレについて
→年間を通した学校行事を考慮し、12月に設定しました。学習発表会自体をなくしてもよいのではないかという職員からの意見も多々ありますが、子どもの活動を参観する機会の1つとして必要と考え、確保しています。今後、開催の有無、時期についても含め、検討していきます。また、懇談会までの時間についても検討します。
- 運動会の開催時期について
→保育園の運動会と被ってしまうとのご意見がありました。年度末に近隣の園と連絡を取り合い、重ならないように計画しています。本校には約30の園から1年生が入ってくるため、すべての園と連絡をとって調整することは難しいことをご承知おきください。

学習面について

- チャレンジ教室など子どもが意義を理解していないのではないか。
→学校として少しでもきめ細かな指導・支援となるよう取り組んでいます。学習の理解の向上を目指し、個別に対応しています。なぜ自分だけがやらなくてはいけないのかと思う子どもがいることを受け止め、より丁寧に説明していきます。

生徒指導について

- 校内や登下校時など子どもたちの挨拶が少ない。
→挨拶については指導してきているところですが、まだまだ課題が残ります。校内だけでなく、校外でも保護者の方（腕章を付けて安全指導をしてくださる方）やボランティアで支援してくださっている方々に感謝し積極的に挨拶できるよう、引き続き指導を続けていきます。

その他

- 正規の職員や学年の補助の先生を増やしてほしい。
→ニュース等でも報道されているとおり、教員を目指す人がこの10年で激減しています。正規の職員が不足しており、どの学校でも市や県に配置要望しています。同時に市に対して、補助教員（会計年度任用職員）の配置も何度も強く要望しています。市や県も大きな課題として対策に取り組んでいます。解決が追いつかない問題であることもご理解いただき、よりよい教育環境の充実に努めていきます。
- PTA活動を見直してほしい。
→PTA活動は学校を運営していくにあたり、とても大切な組織であり、感謝しています。学校職員だけの運営にはどうしても限界があります。さまざまな部分で支えていただけることで、学校教育が成り立っています。地域の実情に合わせて、改善すべき点については共々に協議していきたいと考えます。

お忙しい中、アンケートへのご協力くださり、誠にありがとうございました。
今年度もFormsを利用したアンケート形式にしました。回答期間を延長してお願いさせていただきました。おかげさまで、60%を超える回答率となりました。今後ともより多くの回答をいただくことで、私たちの振り返りへ広く反映させられるものと考えています。いただいた結果やご意見は真摯に受け止め、今後の教育活動の参考にさせていただきます。

また、保護者の皆様からいただいたご意見を元に、2月下旬に開催を予定している学校評議員会議にて、学校評議員の方々と意見交換の場をもち、話し合いをします。東小が子どもたちにとって、更に安心して通える楽しい学校となるよう、努めていきます。